

第4章 滝尾駅周辺地区の将来像

1. 滝尾駅周辺地区の魅力

本地区は旧肥後街道沿いの集落から発展した古くからの市街地で、曲石仏や熊野神社などの歴史的資源が点在しています。地区の北西側には大分川が流れ、滝尾駅南東側の碓島（碓山）と地区南側の森岡はシンボリックな緑地景観を形成しています。また、本地区の多くは低層戸建て住宅主体の住宅地となっているほか、JR 豊肥本線の南東側には農地が広がっています。

本地区から大分市の都心部へは車で10～20分、滝尾駅から大分駅へは鉄道で約7分と近距離に立地し、大分市全体の人口がここ数年減少傾向にあるなかで、本地区の滝尾駅に近い津守や曲の人口は微増傾向にあります。

このように本地区は、都心部への近接性と、身近に農地や緑地、歴史的資源がある環境を備えた魅力のある地区です。

2. 滝尾駅周辺地区の将来像

本地区では多くの魅力がある一方、交通結節点として JR 滝尾駅周辺が十分に機能していないこと、通過交通が狭い道路に流入していること、商業施設や子育て支援施設等の生活利便施設の立地が進んでいないこと、その他災害への対応や歴史文化資源の活用など、様々な問題も生じてきています。

さらに、成長社会から成熟社会への移行に伴い人々の意識や価値観は変化し、働き方の多様化や暮らしの質が重要視されるなど、人々が暮らしに求めるものも多様化しつつあり、時代のニーズに沿ったまちづくりが求められています。

本地区では、各課題を踏まえて、地区の魅力と利便性・安全性をより高めていくことができる都市基盤の整備を目指し、「地域の拠点と周辺環境の整備による居住環境の向上」をまちの将来像とします。

